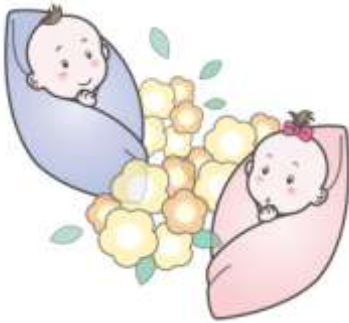


Welcome Baby

産科通信

第13号 (2012.7)

今日は、みなさんがいつも妊婦健診で使っている母子手帳についてのお話です。



みなさん、母子手帳をじっくりと眺めたことはありますか？

母子手帳はママと赤ちゃんの大切な命綱です。病院が記録してくれることだけではなく、自分でもたくさん記録して、赤ちゃんのために健康日記を作ってください。

…では、ちょっと母子手帳を見てみましょう！

- ・ **1ページ～3ページ**は主にママやパパのことです。ここはママが自分で記入する場所です。妊娠中にどこかで倒れてしまった…という時にも、母子手帳に書いてある連絡先に連絡したり、今までの病気や飲んでいる薬から治療を考えたいする大切な情報源です。必ず記入しておいてくださいね。
- ・ **4ページから7ページ**はいつも使っていますね。健診の結果が書いてあります。よく見ると下の方にはやっぱりママが書くところがあるんです。産科医や助産師は毎回母子手帳を見るので、「いつも聞き忘れてしまう」「タイミングがうまく掴めなくて聞きそびれてしまう」という時にも活躍！
- ・ **8ページ～9ページ**は出産と入院中の記録です。1ヶ月健診や3・4ヶ月健診の時にここを見て、赤ちゃんの注意してみる点などを医師が考慮します。病院で記入しています。赤ちゃんが生まれた時の身長や体重、頭位・胸囲も書いてあります。
- ・ **14ページ～37ページ**はこどもの成長記録です。医師や保健師の記入欄もありますが、ママの記録がほとんどです。時がたつと忘れてしまうので、できたことを、まめに母子手帳に記入してあげましょう。自分たちが成長を知るためだけでなく、大きくなってからのお子さんへのプレゼントにもなります。
- ・ **38ページ**から発育の目安が載っています。カーフの線に沿って成長することが理想とされています。小さくても、大きくても、その子なりにラインに沿って成長していれば何も心配ありません。健診の時だけでなく、自分たちで測った時にも記入してみてください。
- ・ **46ページ～49ページ**は予防接種やかかった病気の記録です。かかった病気はママが記入します。
- ・ その他後ろのページは、各自治体で必要な情報が書かれています。妊娠中から読んでおくと役立つことがたくさん書いてあります。時間があるときは一読してみてください。
- ・ また、母子手帳の中に「母性健康管理指導事項連絡カード」というものがあります。就労者は妊娠中や産後にかかりやすい症状が書かれています。当てはまる人は医師に記入してもらい措置の申請ができます。仕事がある方も、無理をせず、安全に妊娠期間を過ごしましょう。



世界中で使われている母子手帳の始まりは、日本でした。母と子を守りたいという古き日本人たちの願いがここにつまっています。
今までも、そしてこれからも、母と子の幸せのために母子手帳は使われていくことでしょう。